



次世代自動車工学教育研究センター シンポジウム



次世代を担う自動車開発への取り組み

20世紀初頭にドミナントデザインを確立した自動車は、近年の環境意識の変化や化石燃料の枯渇に対する問題意識の高まりにより、新たな局面を迎えています。次世代自動車は、ハイブリッド車(HV)や電気自動車(EV)、燃料電池車(FCV)などを想定していますが、「次世代自動車戦略 2010」(経済産業省)によると、国内新車販売に占める次世代車の割合は、2030年で30~40%の見通しとなっています。こうした中で、とりわけ自動車産業の厚い集積を有している中部地域は、転換能力とともにイニシアティブが強く求められています。

本シンポジウムでは、次世代自動車開発の動向を探るとともに、情報発信の場としたいと考えています。

日 時： 平成 25 年 10 月 24 日(木) 14 時 00 分—17 時 30 分

会 場： 名古屋工業大学 講堂 2 階会議室 ※地図は裏面

主 催： 名古屋工業大学 次世代自動車工学教育研究センター

協 催： 名古屋挑戦型企業塾イノベーション研究会



スケジュール

敬称略

- 14:00—14:10 主催者挨拶/センター紹介
名古屋工業大学 副学長/教授
次世代自動車工学教育研究センター長 鶴飼裕之
- 14:10—15:10 「ホンダと次世代自動車の開発動向」
本田技研工業株式会社
環境安全企画室 室長 篠原道雄
- 15:10—16:10 「車載エレクトロニクス技術の発展に貢献する
世界の R&D 動向と日本電産 R&D の役割」 日本電産株式会社
中央モーター基礎技術研究所 副所長 中島豊平
- 16:20—16:50 「次世代自動車駆動用レアアースモータの可能性
—名古屋工業大学の取り組み—」 名古屋工業大学 准教授
次世代自動車工学教育研究センター 研究部門 小坂 卓
- 16:50—17:20 「摩擦ロス削減が燃費向上の近道だった」
名古屋工業大学 副学長/教授
次世代自動車工学教育研究センター 研究部門長 中村 隆
- 17:30—19:30 情報交換会 ※有料 3,000 円（校友会館：カフェ・サラ）

会場案内

■ JR をご利用の場合

【JR 中央本線】

鶴舞駅下車（名大病院口から東へ約 400m）

■ 地下鉄をご利用の場合

【鶴舞線】

鶴舞駅下車（4 番出口から東へ約 500m）

【桜通線】

吹上駅下車（5 番出口から西へ約 900m）



申込票

※10月21日（月）までに、必要事項を記載してメール(jisedai@adm.nitech.ac.jp)でお送りいただくか、切らずにこのままFAXしてください。

※E-mailでお申し込みの方は、件名に「次世代自動車シンポジウム申し込み」とご明記ください。

※ご記入いただきました個人情報は本シンポジウムに関連した目的のみに使用します。

所属・部署名		
参加者名	役職	
連絡先住所		
電話	FAX	e-mail
情報交換会への参加有無	出席 <input type="checkbox"/>	欠席 <input type="checkbox"/>

名古屋工業大学
次世代自動車工学教育研究センター

Center for Research and Education of Next Generation Vehicle

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 11 号館
tel 052-735-5240
fax 052-735-7341
http://icar.web.nitech.ac.jp